



学校だより



2023年 5月31日

No. 484

横浜市立下野庭小学校

(6 月 号)

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/shimonoba/>

コロナ後の運動会のあり方

副校長 福井 伸人

ゆりの木通りの葉が大きく茂り新緑の季節になりました。下野庭小学校では、27日(土)に運動会を開催しました。たくさんの方に参観をいただき誠にありがとうございました。久しぶりに地域からも来賓としてたくさんの方に来ていただくことができました。今年度の運動会のスローガンは、「みんなでパワー!!スマイル1(ワン)!!」でした。力を合わせて準備、練習に取り組み、気持ちを一つにして笑顔あふれる最高の運動会にしていくことを目指しました。子どもたちが、練習の成果を発揮し、カー杯演技や競技に取り組み姿がたくさん見られました。多くの方に見守られながら、心に残る運動会にすることができました。

さて、運動会は、コロナ前には、全校種目や三色対抗リレーなど、もう少したくさんの種目がありました。もう少し前には、PTA種目や未就学児の種目などもありました。子どもたちは参観に来た保護者と一緒にお弁当を食べて運動会は午後まで続きました。運動会までに準備や練習にたくさんの時間を使いました。たくさんの方の練習を繰り返し行いました。運動会当日、子どもたちは丸一日、演技や競技や応援に取り組み、文字通り全力を出し切りました。くたくたになりながらも、全力を出し切ったことで達成感を得ることができました。それが、新型コロナウイルス感染症の流行により、三密を避け、種目を絞り、参観者を絞って実施するようになりました。この5月に新型コロナウイルス感染症は5類に移行したことにより、感染対策もそれまでより緩和されました。それを踏まえ、本校では、参観者については制限をなくし、参観場所についても昨年度より開放するようになりました。

それでも、かつての運動会のように、丸一日かけて行うのではなく、種目を絞り午前開催にしたのは、昨年度のアンケートを参考にしながら、この形の方が子どもたちにとって、よいと考えたからです。温暖化のため暑さが厳しくなり、熱中症が心配されるようになりました。丸一日外で運動や応援に取り組みることが体力的に厳しいお子さんもいます。コロナによって制限を強いられたことによって、運動会のあり方について改めて考えるきっかけとなりました。運動会は、日頃の体育学習の成果の発表の場ととらえ、運動会のために練習をするのではなく、日頃の体育学習の中で、できることを増やし、友達とかかわって教え合い、学び合いながら動きを高めていくことを目指しました。誰もが自分のできることに取り組み、到達地点は一人一人違っても、誰もが達成感を味わえるように指導してきました。その一つの発表の場として運動会があると考えました。

「みんなでパワー!!スマイル1(ワン)!!」の1(ワン)は1番を目指すという意味だけでなく、自分の全力を発揮するという意味でもあり、全員が力を合わせ一つになるという意味でもあります。本年度の運動会は、いかがだったでしょうか。お子さんのどんな姿が見られたでしょうか。勝ち負けだけではなく、順位だけではなく、お子さんのがんばりに目を向け温かい励ましをお願いします。5月22日にスクリレで、運動会アンケートのご協力をお知らせしました。ぜひ、皆様のご意見をお寄せください。今後、よりよい運動会のあり方について検討していきます。

年度のはじめからたくさんのご支援をいただき本当にありがとうございます。当日も、参観のマナーを守って譲り合ってご参観いただき誠にありがとうございました。また、前日準備、当日のパトロール、片付けのボランティアに多くの方々にご協力いただいたおかげで、運動会を盛況に開催することができました。心より感謝申し上げます。

〇マーチングバンドの様子

5月3日(火)に、昨年度の部員とともに「ザよこはまパレード(横浜国際仮装行列)」に参加し、「準はまっパレ大賞」をいただくことができました。5月27日(土)の運動会では、今年度初めて皆様に向けて演奏を披露させていただきました。マーチングバンドは、6月8日(木)まで部員募集をしております。6月3日(土)10:30~学校にて楽器体験会を行いますので、興味をもった方はぜひいらしてください。

6月2日(金)開港記念日には、桜木町の日本丸の前で14時頃に演奏をする予定です。みなとみらいにお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。(※雨天中止)



